会派のぞみ 平成30年度(前期) 政務調査研究報告

平成30年9月21日 清水優一郎



2 政務調査研究活動の概要

- 7月24日(火)13:30~16:00 岡山市役所
 - (1)「都市交通戦略」について
 - (2)「在宅介護総合特区(AAAシティおかやま)」について
- 7月25日(水)10:30~12:00 岡山県玉野市役所 「市有財産に関するサウンディング型市場性調査」について
- 7月26日(木) 10:00~11:30 兵庫県豊岡市 FLAPTOYOOKA
 一般社団法人 豊岡観光イノベーション 「地域連携DMO」について

3 岡山市(1)「都市交通戦略」について

• 視察の目的

「リニア開業を見据え、

二次交通の在り方を調査研究する」



岡山市は2009年10月に都市交通戦略を策定し、「充実したネットワークとだれもが利用しやすい公共交通」「人でにぎわう、歩いて楽しい都市空間の創生」に取り組んでいる。

山陽新幹線が停車する岡山駅を中心とした二次交通体系は、リニア開業を見据えたうえで参考になる点が多いと考えた。

4 岡山市(1)「都市交通戦略」について

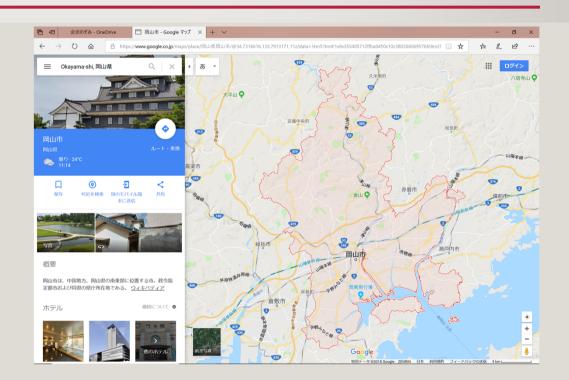
• 視察先の概要

人口:72万1000人

「政令指定都市、県庁所在地」

世帯数:31万8000世帯

面積:789.95㎞



5 岡山市(1)「都市交通戦略」について



• 視察内容

岡山市では「安全で快適な交通ネット ワークをつくる」「日常の移動を便利に し、健幸(ケンコウ)な暮らしを支え る」「歩いて楽しい都市空間に変える」 などの目標を掲げて、

「都市と地域拠点との連携軸強化」 「都心内の回遊性向上」に取り組んでいる。

- 都心内での通過自動車等の流入規制 (自動車、自転車、歩行者の地区内移 動制限をゆるやかに推進)
- JR吉備線のLRT(次世代型路面電車)化 (環境、バリアフリー、利便等)
- 自転車利用環境の改善(レンタサイク ルももちゃり)
- ・ 市内の路線バス (9社) の運賃設定や 支払方法等のサービスの統一化

岡山市がめざす交通のすがた

充実した交通ネットワークと誰もが利用しやすい公共交通 -総合交通システム整備に向けた都心・地域拠点間の交通連携-

都心・地域拠点間で公共交通手段と私的交通手段の効率的な組み合わせを実現するとともに、 現在の自動車交通に依存した交通体系から、「人と環境にやさしい、アクセス性に優れた公共交 通中心の交通体系」によるコンパクト市街地への転換を図り、中四国の中枢拠点都市にふさわ



人でにぎわう、歩いて楽しい都心空間の創生 -都心部におけるトラフィックゾーンの構築 環状公共交通 (パス・LRT) 自動車の 都心への 流出入抑制 環状公共交通 (パス・LRT) 健歩・自転車 ・公共交通優先

都心内においてはトラフィックゾーンシステム*の考え方を取り入れ、都心内の自動車交通の減少により、都心内の交通空間を、歩行者・自転車・公共交通優先の空間に再生し、人でにぎわう、歩いて楽しい都心空間の創生をめざします。

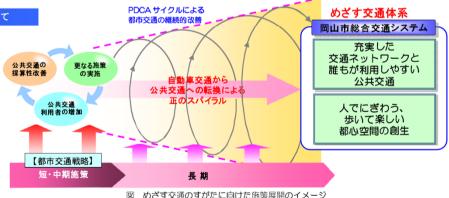
図 歩行者優先のトラフィックゾーン*の概念

図 都心内の回遊性向上のイメージ

めざす交通のすがたの実現に向けて

岡山市がめざす交通のすがたを実現する ためには、ます交通施策を展開することで公 共交通サービスを向上し、利用者を増加させ なければなりません。そして、このことによ る収益改善により新たなサービスが生まれ、 さらに公共交通の充実が図られるという、正 のスハイラルへ転換させる必要があります。

「岡山市都市交通戦略」では、めざす交通 のすがたに向けて着実に進んで行くために、 まず短・中期に戦略的に取り組む施策とその 事業プログラムを定め、その事業実施を行う 道筋を示します。



トラフィックゾーンの事例①:

都市圏人口約 43 万人のフランスのストラ スプールは、1992 年に都心環状道路の完 成と時期をあわせて約 1.5km四万の中心市 街地においてトラフィックソーンシステム を導入した。その結果、都市イメージが向 上するとともに、部心部の商店街への来訪 者が増加したと報告されている。

出典:山中英生他「まちづくりのための交 通戦略」2000

トラフィックゾーンの事例②:

人口約50万人のスウェーデンのイエテボ リは、1970年に路面電車の軌道敷を利用 レて約15km四方の中心地区を5つに分割 するトラフィックゾーンシステム*を導入 した。その短期的効果は以下のように報告 されている。

- ① 中心業務地区の自動車交通量が 50%
- ② 環状道路では交通量が 25%増加した が、交通流の単純化により速度は上昇
- ③ 交通事故は最初の1年で全体として 25%減少、2年後には環状道路で 10%、中心地区で40%減少

出典: 天野光三「都市の公共交通」1988

人と環境にやさしいLRT

LRT (Light Rail Transit) とは、単に低床式車両(LRV)の活用だけでなく、走行路面、電停、運行システム、デ ザインなど従来の機能を大幅に向上させた次世代型路面電車システムです。

一般に、人口密度が高く利用者が多い大都市では、鉄道や地下鉄が適していますが、岡山市のような中規模の都市 では、地下鉄に比べ輸送力は劣るものの、自由度が高く、比較的経済的なLRTの方が適していると言えます。

LRT (Light Rail Transit)の特徴

1. 鉄道のように早く、路面電車のように便利!

従来の路面電車に比べて大幅な車両性能の向上が図られており、既存鉄道と同等の走行速度を発揮できます。また、 優れた加減速性能を有し、道路内に導入した場合でも安全に走行が可能です。こうした性能を活かし、中心市街地で は駅間距離を短くしてアクセスの利便性を高くし、郊外では駅間を長くし、高速運転を行う等、都市の中で様々な対 応が可能です。また、JR・バスなどの他の公共交通手段との結節点改善やパークアンドライドの導入を組み合わせる ことにより、都市の基幹的交通システムとしての役割を果たすことができます。



路面電車の時刻表 〈岡山電気軌道 (東山線:平日) 岡山駅→東山〉



2. バリアフリーで、誰もが使いやすい!

低床型車両を用いることで、高齢者はもとより車いすやベビーカーの利用者等、全ての利用者にとって使いやすい 交通システムです。また、道路上では、路面からの水平移動だけで直接乗り降りできるだけでなく、駅間が短く、ど こからでも自由に乗り降りが可能な身近な交通システムです。





3. 歩行者・公共交通優先の都心形成につながる!

都心部においては、トランジットモール、歩行者モール、トラフ ィックゾーンなどと組み合わせることにより、歩行者・公共交通優 先の都心空間を形成し、中心市街地の活性化につなげることが可能 となります。





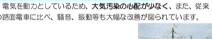
4. 安心して使える!

専用の軌道を走行するため、バスのように道路渋滞の影響 を受けず、定時性が高い交通システムです。

また、路線が目に見えるため、安心して使うことができま す。

5. まちのシンボルとなる洗練されたデザイン!

先進的な技術・デザインを持つ交通システムであり、軌道 によるまちの分断も少なく、景観等、都心空間の形成に資す ることで、それ自体がまちの魅力のひとつとなります。





6. 低騒音、低振動、CO2の削減にも!

の路面電車に比べ、騒音、振動等も大幅な改善が図られています。

7. 路線の自由度が高く、しかも経済的!

道路内に設置することができるため、鉄道に比べて路線延伸の自由 度が高く、地下鉄の概ね1/10の費用で整備することができます。

8. 岡山市の取り組み

かつて全国 65 都市で運行されていた路面電車は、現在では 17都市 (19事業者)でしか運行されておらず、岡山市は数少ない路面電車が残る 都市です。岡山市の路面電車は都心部における公共交通として 1日約1 万人弱の方が利用され、約 100 年にわたって市民に親しまれている交 通です。

前述のとおり、LRTは従来の機能を大幅に向上させた次世代型路面電 車システムであり、公共交通の利便性向上の手段として、今世界中で注 目・活用されています。日本でも技術開発が進んでおり、国の支援制度 も拡充されてきております。

LRT は鉄道とバスの中間の柔軟な輸送力を持ち、人口 70 万人都市で ある岡山市に適しています。また、初めて訪れた人にも路線がわかりや すく利用しやすいという点も、政令指定都市となり今後来訪者が増加し ていく岡山市にふさわしいといえます。

このようななか、岡山市のLRTについては各方面より様々なご提言・ ご提案をいただいておりますが、関係機関との調整や地元市民との合意 形成など熟度の高まったものから具体化にとりくむこととし、事業概要 や事業費などを市民の皆様にお示ししながら進めてまいります。

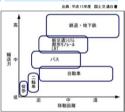


図 輸送力と移動距離からみた交通手段の適正領域

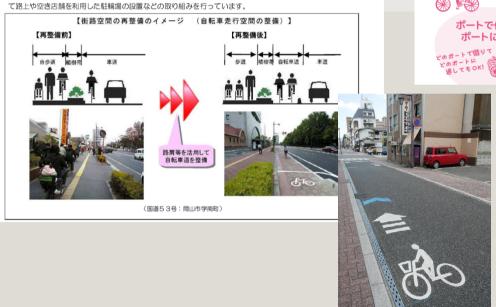


岡山の気候や地形に適した自転車

市民の身近な交通手段として広く普及している自転車は、近年、環境対策、健康増進等の観点から、注目を集め ています。岡山市においては、平成20年1月には、国土交通省と警察庁が合同で指定した自転車通行環境整備の モデル地区 98 箇所のうち、岡山駅西口地区・岡山駅東口地区の 2 箇所が指定されており、また、表町商店街にお ける歩行者・自転車の共存をめざす社会実験も実施されています。岡山市では、都市交通の中での自転車の役割を 重視し、これらの取り組みを踏まえ、施策として展開し、積極的に安全で快適な自転車利用環境の向上を進めてい きます。

(1) 自転車利用環境の整備に向けた取組み事例

都心部では、自転車通行環境整備モデル地区として、自転車通行帯の整備や、表町商店街での社会実験におい



G: 0 ももちゃりとは?

まちなかに設置されているサイクルポート(専用駐輪場)で自転車を借りて、 違うサイクルポートへ返すことができるサービスです。



使い方は、電車に乗るのと同じくらいシンプル。

一度利用者登録をしていただければ、あとは駅前や街中 のポートに利用者カードをタッチするだけで、簡単に自 転車の貸出・返却・支払いができます。

お手持ちのICOCA/Hareca/おサイフケータイ等のFelica 対応ICカードが、そのまま利用者カードとして利用して いただけます。

ももちゃりのサイクルポートは岡山市内に現在35か所。



9 岡山市(1) 「都市交通戦略」について まとめ

【感想】

- 30年先をシミュレーションし、今の 計画に活かしている。
- あるべき交通政策にむけて「ゆるやか に」変化させていくことが重要。
- ・総合交通計画を市の最高位計画と位置 づけ、現状把握と市民意識調査がしっ かりとされ、成果指標も明確であった。

【今後、飯田市に活かせること】

- 現状の課題を綿密に調査研究している 点
- 特に路線バスについて、地元住民と来 訪者双方にわかりやすい表示の必要性
- ヨーロッパ等の先進事例を参考にしながら、トラフィックゾーンシステム構築に向けた検討が進められている点

IO 岡山市 (2) 「在宅介護総合特区 (AAA)」につい

7

• 視察の目的

「当市における地域包括ケアシステムの 推進にむけて、有用な施策モデルである AAAを調査研究する」



AAA とは(アクティブ、エイジレス、アドバンストの頭文字)「高齢者が介護 が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築」をコ ンセプトに、 在宅に特化した全国初の特区指定を受けた先駆的な取り組み

飯田市高齢化率31.2%(H29年10月)で全国平均と比べ3.8%高い

| 岡山市 (2) | 「在宅介護総合特区 (AAA) 」について

岡山市の概要

- 高齢化率: 25.5%
- 介護認定率: 20.9%
- 介護保険料: 6, 160円
- 介護給付費:約522億円(デイサービスは約2割)
- 医療・介護資源は政令市(全20 市)トップクラス。一般病棟数4位、 医師数3位、通所介護事業所数2位。

• 視察内容

岡山市では平成24年に「市民や医療・介護の専門機関に対して在宅医療に関する意識調査」を行い、市民の在宅ニーズを把握したうえで「高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築」をコンセプトに様々な取り組みを展開している。

12 岡山市 (2) 「在宅介護総合特区 (AAA)」について

- デイサービス改善インセンティブ事業
- ●最先端介護機器貸与モデル事業
- 介護予防ポイント事業
- 医療法人による配食サービス実施事業
- 訪問介護・介護事業者に対する駐車 許可簡素化事業



デイサービス改善インセンティブ事業の概要



5つの指標で、ストラクチャー・プロセスを評価。評価指標を達成した事業所にはアウトカム評価を実施し、

上位事業所に奨励金を付与。また、DASCモデル事業で、認知症の早期発見・早期対応に努める。 H30.6 H31.1 H31.3 H31.3 参加事業所 指標による評価 アウトカム評価 インセンティブ付与 への確認 〇評価指標の収集(H30.12時点) 【指標達成事業所かつ 説明会を実施 アウトカム評価上位】 ○調査結果から、評価指標のベンチ 指標達成事業所 表彰 + 奨励金 + マークの達成(3つ以上)の可否 のうち、日常生活 今年度は案内 情報公開 文を持ってかえ 状況で評価する 機能評価の維持・ H29-28=10事業所、H27=12事業所 させていただき H29=62事業所、H28=72事業所、H27=72事業所、 改善度で評価 H26=60事業所 ます。 【指標達成事業所】 評価指標 表彰 + 情報公開 参加・・・ 1 外部研修への参加状況 H29=158事業所 2 医療機関との積極的連携(DASCモデル事業) バーセルインデックス(Barthel Index) 3 認知症高齢者の受け入れ人数 H28=164事業所 H27=153事業所 4 機能訓練指導員の常勤換算人数 H26=151事業所 |5||介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ドへの移動 H30.8 H30.12 DASC調査 DASC調査 5 自立 8分介助または不可能 15 45M以上の歩行、補装具(車格子、歩行器は除く)の使用の有無は隠れ 45M以上の小助歩行、歩行器の使用を含む 5 歩行形の場合、集中下にで45W以上の嫌行可能 入浴 (1回目) (2回目) 2 上記以外
 10 自立、手ずりなどの使用の有無は問わない
 10 自立、手ずりなどの使用の有無は問わない
 5 介助または監視を要する
 0 不能
 10 自立、整、ファステー、装具の差版を含む
 参か企動、標準的な時間内、半分以上は自分で行 H30.6 H30.12 アウトカム調査 アウトカム調査 (1回目) (2回目)

岡山市は 全国初となる 在宅介護総合特区に 指定されています

最先端の介護機器を活用して、 在宅生活を支援

全国初! 最先端の介護機器を 市民の方に1割負担で レンタル中

岡山市医療福祉戦略室 〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1番1号 TEL 086-803-1638 FAX 086-803-1776 E-mail iryou-s@city.okayama.lg.jp

シャワー温浴チェア



※平成30年7月から 貸与開始予定です

浴槽に入るのがつらい、けれ ども入浴で温まりたい方のた めのシャワー温浴チェア。浴 用イスに座ったままで温まる

パロ



「パロ」とのふれあいに より認知症の方の暴言、 暴力、徘徊等に緩和効果 が図られます。

2.000円/月(税別)

要介護度1から5の方

大和リース岡山支店 **23**086-245-1391

^{製品名}パワーアシスト グローブ



字を書く、ペットボトル を持つ等の握る動作、あ るいは指を開く運動を空 気の力で支援します

ラップポン



排泄物を自動で個包装に するので、バケツ洗浄の 手間や臭いなど、排泄介 護の負担を軽減します。

800円/月(税別)

要支援1、2または 要介護度1から5の方

日本セイフティー **23**0120-208-718

^{製品名} ハートフル スロープ



ベッドからの立ち上がり や、動く・歩くがより快 適で安全であるように配 慮した「洗える畳」です。

服薬支援ロボ



音声と画面で服薬の時間を知 らせ誤薬を予防。認知症対策 や自立支援の工夫も付加。 薬局による薬のセットも可能 です。

500円/月(税別)

要支援1、2または 要介護度1から5の方

ケアボット (サンヨー薬局) **23**03-6222-1062



光と音の促し効果でお薬 の飲み忘れ、飲みすぎを 防止します。大容量薬剤 ケース・録音機能付き。

800円/月(税別)

要支援1、2または 要介護度1から5の方

ダスキンヘルスレント 岡山ステーション **23**086-244-9855

お薬飲んでね!



お薬の飲み忘れや飲み間 違いを防ぎます。ご自身 やご家族の服薬管理をサ ポートします。

※当機器は医療機器ではありません。 ※取扱説明書をよく読み、正しくご利用ください。

eお薬さん

1.000円/月(税別)

要支援1、2または 要介護度1から5の方

西日本メディカルリンク **5**3086-241-3211

Na ACSIVE (アクシブ)



雷気やモーターなどを使 わず、バネと振り子の動

トランクソリューション



装着することでご自身のコア マッスルが強化され、姿勢や 再にはご白白

快速ウォーカー



特に片麻痺者の姿勢を安 定させスムーズな体重移

15 岡山市 (2) 「在宅介護総合特区 (AAA)」について まとめ

【感想】

- 厚生労働省から難色を示されても、独 自の調査や実績に基づく提言を重ね、 施策の実現に果敢にチャレンジした点。
- 「要介護度が改善されると報酬が減額 される」という制度の矛盾に着目し、 「汗を流す人が報われる介護」のため にインセンティブを取り入れたこと。
- インセンティブを単に報奨金目的でなく、事業所の宣伝やイメージアップ効果を最大の動機付けにした点。

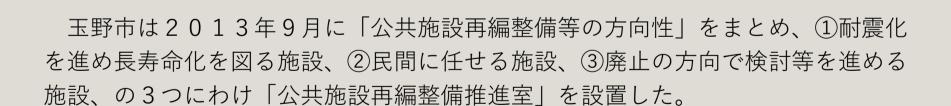
【今後、飯田市に活かせること】

- 市民の療養場所のニーズ(医療や介護 が必要になったとき、終末期)の把握
- 岡山大学、兵庫県立大学などの知見を得て、「市内全サービス事業所が共同で質を評価する規範的統合」を実現するなど、仕組みの構築には専門的知見者のサポートが大きく、外からの目を地域福祉に活かした事例として捉えた
- 最先端介護機器貸与事業については、 地元企業の産業振興にもつながる

| 16 岡山県玉野市「市有財産に関するサウンディング型 市場性調査|について _____

• 視察の目的

「市有財産の、より一層の有効活用を 図るためサウンディング型市場性調査 を調査研究する」



17 岡山県玉野市「市有財産に関するサウンディング型 市場性調査」について

• 視察先の概要

人口:5万9900人

世帯数:2万7700世帯

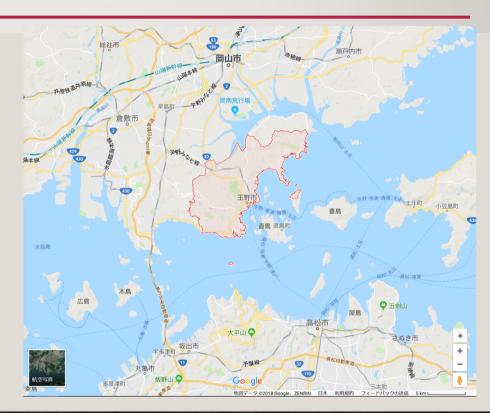
面積:103.5 km²

公共施設削減目標:40年間で3

6%減

築30年以上の施設の割合:79.

5% ※飯田市は60%



18 岡山県玉野市「市有財産に関するサウンディング型 市場性調査 | について

- 専門部署を設置したが前に進まない。 市役所内での意識の切り替え提案を待つ → 「提案を求める」
- ・サウンディング型市場性調査とは 市有財産(土地・建物)の有効活用 を図るため、民間事業者から意見や提 案を対話形式で広く受け付ける調査の こと(マーケットサウンディング調査 ともいう)

市場性調査の目的

今後の在り方を検討する公共施設等について、民間事業者からの利活用に関する意見・提案を広く募集し、市場性のある市有財産から優先的に検討を進め、今後の公共施設の再編整備や地域の活性化(地域振興)につなげていくことを目的にしている

19 玉野市「市有財産に関するサウンディング型市場性 調査 | について

【具体的な調査方法】

- 対象者:法人又は法人グループ(地元法人以外も対象とする)
- 調査内容:①使用目的(活用方法)②既存建物の取り扱い(改修)③事業手法 (購入、定期借地権設定)④地域貢献(地元雇用、社会貢献度)
- 費用負担:調査費用(交通費、資料作成、通信費等)のすべてを提案者が負担
- ヒアリングの方法:窓口は財務課に一本化。提案者は最大3名で、1提案者に対して60分程度意見交換。サウンディング調査に関するアンケートも実施。
- ※可能性を調査するもので、聞き取りを参考に施設の在り方について方針が決定 次第、公募を行うが、<u>提案者の優位性はない</u>

20 玉野市「市有財産に関するサウンディング型市場性調査」について

【調査の結果】

- ・提案実績:9施設に対して7法人から提案が上がった(東京の法人からも含む) ①ローカルビジネス創業者の活動拠点②医療施設の整備③自転車振興のための事 業④フィットネス事業等
- アンケート調査の結果:制限が少なく、幅広い募集のため提案の機会が得られた。 事業化の条件等の要望を伝え、市の考え方も聞き、理解できた。個別物件に関す る市の方針、将来像、スケジュールをあらかじめ情報提供してほしい。
- 市の受け止めや気づき:民間事業者が検討段階から意見・提案できることを有益 と感じている点。検討の透明性や公平性などが説明しやすい仕組みとなった。

21 玉野市「市有財産に関するサウンディング型市場性

調査」について

【調査後の状況(活用の一例)】

・旧王子が丘パークセンター内レスト ハウス → 2017年10月に大 パノラマのオシャレなカフェに









22 玉野市「市有財産に関するサウンディング型市場性調査」について まとめ

【感想】

- 民間のチカラを活用するためには、行 政のメンツを捨てることが肝要
- 指定管理や業務委託などにこだわらず、 地域振興に資する民間事業者の参入促 進を図るためにもこの手法は大いに参 考になる
- 官民連携で進めていくことの有用性が 認識され、職員の意識改革にもつな がった

【今後、飯田市に活かせること】

- 当市でも試験的に一部の私有財産に対し、本調査の検討をしてみてはどうか。またサウンディングの考え方は多くの分野にも通じる
- リニア時代だからこそ、民間投資は有効と考える
- サウンディングの考え方は、公共性の高い地域資源(保存・保全・継承)が必要な場所、地域資源の活用の観点においても有効と考える

• 視察の目的

「地域連携DMOの先駆的事例を調査研究する |

豊岡市は「小さな世界都市 豊岡」を標榜し、 「人口規模は小さくても、世界中の人々から 尊敬されるまち」を目指している



事前準備として、(株)南信州観光公社から現在の状況の説明を受けた

• 視察先の概要

人口:8万3100人

世帯数:3万3100世帯

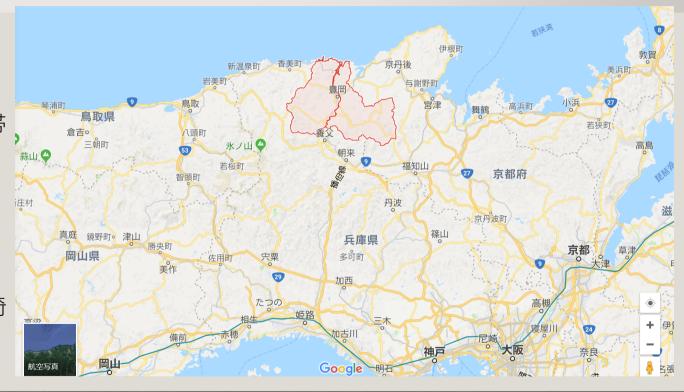
面積:697.5 km²

市の鳥:コウノトリ

豊岡市の主な産業:

1位 宿泊・飲食業(城崎

温泉中心)



【設立の背景】

- ・ 人口減少により国内観光客の伸びが期待 されない中、訪日外国人は年々増加し、 豊岡市においても「城崎温泉」を中心に 外国人観光客が急激に増加をしてきてい る(6年で50倍の増加)
- そうした中、<u>新たな機能</u>を持つ組織「豊岡版**DMO**」を設立し、これまで以上に 観光による地域の活性化に取り組んでい くことになった

【新たな機能とは】

- 観光地のマーケティング機能
- 観光と地域、事業者をつなぐ機能
- 地域ならではの旅行商品を作り、自ら観光客を呼び込む機 能

世界に評価される『小さな世界都市』を演出します

キーワードは**ローカル&グロー**バ

【新たに法人を立ち上げた理由】

- スピード感を持って、事業を遂行する
- 専門知識を持った人材を民間企業から起用する
- 収益事業を実施する
- 地域の意欲のある事業者と直接つながる(公平性の打破)

【インバウンド戦略】

- 2020年10万人宿泊を目指す
- 「城崎温泉」を中心に全市及び周辺 地域に展開
- メインターゲットは欧米豪
- 自分たちで儲ける=外資に奪われな い = DMO設立













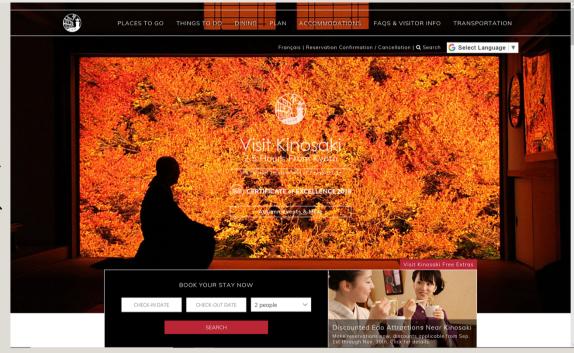






【特徴的な取り組み1:webマーケティング】

- 軒先拝借でユーザー行動分析(電気 代とルーターの空きポートも拝借)
- JNTO (日本政府観光局) へ市職員を 派遣し外からの目を養う (フランス、 イタリア、スペイン、マレーシア 等)
- コバンザメ商法(京都市の外国人宿 泊客数318万人)と称し「京都の 隠れ家」として発信



【特徴的な取り組み2:着地型ツアー体験プログラムを増やす(2017年度35本販売)】

- レザー折り紙ワークショップ
- レンタル浴衣
- ラバートレッキング (沢登り)
- 地元歌舞伎チケット
- 古民家カニ懐石

CREEZAN's Leather Origami Workshop



IROHA Yukata Rental in Kinosaki Onser



Nature School's Lava Rock Trekking





【特徴的な取り組み3:インナープロ モーション】

- ・日本で最先端の取り組み業地元で頑張る人による「セミナー&交流会」【特徴的な取り組み4:収支について】
- みるべき収入は、豊岡観光イノベーション自体の収入ではなく、地域の収入(地域内への経済波及効果)

【特徴的な取り組み5:合意形成の仕組み】

- 月次会議(連絡調整会議)の実施
- ・城崎エリア→周辺エリアに拡大中 【特徴的な取り組み6:ニュースレターの発行】
- 月一回の発行(外国人観光客の動向、 観光客の声、会員からのお知らせ、 商品・体験プログラムの紹介等)

30 兵庫県豊岡市「地域連携**DMO**」について (一社)豊岡観光イノベーション まとめ



【感想】

- みんなでよくしていこうという土壌がある ため、まずは城崎温泉を中心にスタートす ることに違和感は生まれなかった。グラン ドデザインの共有ができていた。
- 単体の施設の収支をみるのではく、それが 地域全体にどのような効果(経済的、目に 見えないものも含む)を生み出すのかを考 えている点。
- この事業を通じ、役員の一員であるWILLER のコールセンターが市内に移転し、市民20 人の雇用がうまれた点。

【今後、飯田市に活かせること】

- 観光消費額(地域内経済波及効果)を最大の目的に掲げている点(株式会社でなく一般社団法人として取り組んでいる)
- 観光に関する視察受け入れはDMOが行い、 有料化し、さらなる観光政策に活かしてい る点
- 特に広報は活動は、特徴や他との差別化が要となる。(行政がやると公平性が壁となるのでDMOに任せる)
- 小さな世界都市とは、ローカルを磨き上げることによって世界を目指すイメージ (インナープロモーションの重要性)

一 視察料金 一

基本料金	・01 「豊岡版DMO設立」について 20,000円/h(税別) ※会場費用別途実費 ・02-06 アレンジ(アテンドなし) 20,000円(税別)
追加料金	 ・視察アレンジと当日アテンド(1名)に対する料金 3時間まで(移動時間含む) 30,000円(税別)【~10名様】 6時間まで(移動時間含む) 60,000円(税別)【~10名様】 ※視察先が複数となる場合、視察アレンジと当日アテンドの対応となります。 ・視察人数が10名を超える場合、10名を超過する1人当たり追加費用1,000円(税別) ・講師料は別途実費
その他	視察時の移動手段は上記料金に含まれませんが、当法人で手配が可能な場合もございますので、ご相談ください。 助成事業(教育関連旅行向けバス事業)

— 講師派遣料金 —

「豊岡版DMO設立」について100,000円(税別)1時間程度 ※交通費・宿泊費別途実費